

2024年9月2日

報道関係者各位

オリザ油化株式会社



オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市、代表取締役社長:村井弘道、以下「オリザ油化」)は、本年も2024年9月18日~20日にタイ王国バンコクの Queen Sirikit National Convention Center (QSNCC)にて開催される展示会「Vitafoods™Asia」に出展をする。

昨年10月に日本を皮切りに上市した、新商品の「フェムベリー™(ストロベリーグアバ)」を中心に紹介をする。昨今、東南アジアでは日本と同様に「フェム케어」「育毛」がキーワードとなっており、「フェムベリー™」の血流改善作用、体温回復促進作用、むくみ改善作用、育毛のデータを揃え、展示会で紹介をする。

またタイFDAにも受理をされている「桜の花エキス(Florabella™)」をはじめ、今年FDAに受理された「トマト種子エキス(LycoLift™)」と「パッションフラワーエキス」を紹介する。

各素材の特色は下記の通り。

今回も機能性素材のPRだけでなく、最終製品(カプセル、打錠、パウダー飲料等々)での具体的な提案まで紹介できる体制を整えて展示会準備を進めている。

近年サービスを強化したお客様が要望されているユニークな原料の組み合わせ提案、及びその生理活性のエビデンス構築、更に差別化可能な特別性のある処方提案、そしてOEM製造までのワンストップサービスや、東南アジアでのネットワークを駆使し、各国の法的レギュレーションに合致した処方を紹介する。

場所: Queen Sirikit National Convention Center (QSNCC) バンコク

日時: 2024年9月18日~20日

ブース番号: B10

桜の花エキス(Florabella™):桜の花(*Prunus lannesiana*)の成分や機能性に注目し、研究を行った結果、シワやたるみの原因になるコラーゲンの糖化を抑制する抗糖化作用や線維芽細胞のコラーゲン格子形成の促進作用が認められた。

トマト種子エキス(LycoLift™):トマト種子エキスおよびサポニン(リコペロサイドA,H)がコラーゲンおよびエラスチンの産生にそれぞれ関与する smad および fibulin 遺伝子や、古くなったコラーゲンやエラスチンの分解物の取り込みにそれぞれ関与する endo180 および neuramindase-1 遺伝子発現を有意に増加させることも、世界で初めて明らかにした。

パッションフラワーエキス:「体内時計」(概日リズム)に着目した研究を行い、パッションフラワーエキスの主要成分であるフラボノイドに時計遺伝子(概日リズムを制御する遺伝子)の発現量増加 作用を見出し、「概日リズム改善剤」として特許を取得。